

病院薬剤師でも、薬局薬剤師でもない  
“新しい薬剤師”としての姿を知る!

# 在宅医療における新しい役割をデザインする

## 在支診薬剤師 という働き方

— 在宅医療における新しい役割をデザインする —

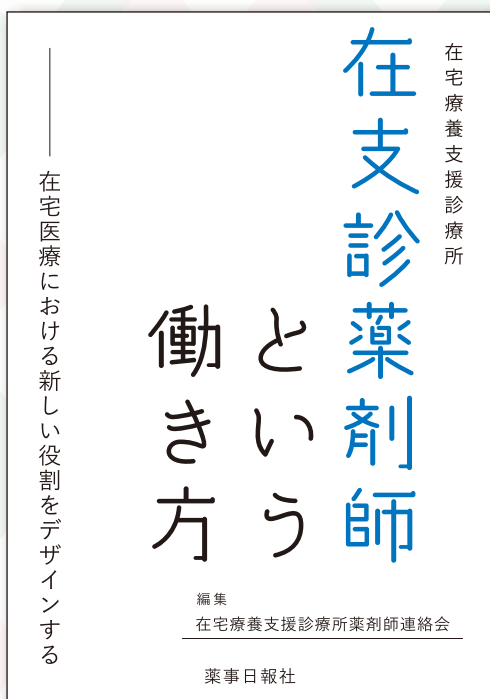
[編集]在宅療養支援診療所薬剤師連絡会

『在宅療養支援診療所(在支診)』\*に所属する9人の薬剤師が、なぜ職場として在支診を選び、どのように業務をデザインしてどのような役割を担っているのか、その実際の取り組みと、今後、何を目指していくのかについて紹介。また、在支診薬剤師の意義や可能性、本質業務などについて本音で語り合った執筆者による座談会も編集後記として収載。

※在宅療養支援診療所(在支診)とは  
在宅療養する患者のために、地域において責任をもって診療にあたる2006年に制度化された医療機関

多職種との協働や対人業務などが重要となる「**地域に根差した医療**」を進めていく参考となる一冊!

「患者さんと地域の状況と情報の統合」に取り組む在支診薬剤師を知ることは「**モノ**」から「**ヒト**」への**ヒント**にもなる!



A5判 / 142頁 / 定価 2,200円(本体 2,000円 + 税10%)

## 第1部 在宅医・経営者が求める薬剤師とは？

【執筆者】 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック 院長 遠矢純一郎  
医療法人社団創福会 ふくろうクリニック等々力 理事長・院長 山口潔  
医療法人双樹会 よしき往診クリニック 院長 守上佳樹

■在支診の院長が、経営者として、また医師として、薬剤師にどのような役割を期待しているのか、協働することで得られたメリット、今後の可能性などについて紹介しています。

## 第2部 在支診薬剤師業務の最前線～そして未来に向け

【執筆者】 大須賀 悠子,岡崎 理絵,佐久間 詠理,高柳 論也,中谷 美夏,有田 諭,天川 雅彦,平賀 愛,餅原 弘樹

■在支診で活躍中の薬剤師が、どのようなキャリアを経て「在支診薬剤師」となったのか、また、院内マネジメントや医師の処方支援,対応薬局との連携,院外処方箋の調整など業務内容の実態について紹介しています。  
薬物療法の個別最適化や外来業務への介入,連携する職種との職能・価値観の統合など今後の課題や目標についても述べています。

## 第3部 座談会(編集後記に代えて)

在支診薬剤師という働き方-"地域"を結び、在宅患者を支える挑戦

【参加者】 天川 雅彦,大須賀 悠子,佐久間 詠理,餅原 弘樹

■在支診薬剤師のコア業務や本質業務とは何か、在支診薬剤師に対する医師の評価は、診療報酬上の“独自点数”は必要なのか、職域境界線上の業務やタスクシフトにはどう対応しているのかなどについて現場ならではの考えや意見を語った座談会を収録しています。

■在支診薬剤師のさらなる活躍に期待～あとがきに代えて

【執筆者】 串田一樹(昭和薬科大学地域連携薬局イノベーション講座)



詳細・購入はコチラ >>>

### 【申込書】

年 月 日

ISBN: 978-4-8408-1554-3	在支診薬剤師という働き方 <small>在宅医療における新しい役割をデザインする</small>	定価 2,200 円 (本体 2,000+ 税 10%)	申込冊数 <small>冊</small>
ご送付先住所 〒		書店様番線印(書店申込)	
貴施設・貴社名	部署名		
ご担当者名	お電話番号		

●書店へのご注文は冊数をご記入の上、お近くの書店にお申込み下さい。  
●弊社に直接ご注文の場合には必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。  
別途送料(国内1箇所送付につき550円、重量が5kgを超えた場合は850円)を頂戴します。

薬事日報社行きFAX  
⇒ 03-3866-8408